

海軍公報

(部内限) 第二千八百二十六號

海軍大臣官房

昭和十三年二月一日(火)

○令 達

官房機密第五二三號

昭和十二年官房機密第四九二七號中左ノ通改正ス

昭和十三年二月一日

海軍大臣

第四艦隊

吳鎮守府

ヲ

第四艦隊

吳鎮守府

ニ改メ

第五艦隊

第九戰隊

吳鎮守府

ヲ削ル

(昭和十二年十二月一日本欄参照)

官房機密第五二三號

昭和十三年二月一日

海軍大臣

内令提
要登載

各鎮守府司令長官殿

練習艦艇配當ノ件中改正ノ件訓令

昭和十二年官房機密第四九三八號別表中左ノ通改正ス
海軍潜水學校ノ部中「第十九潜水隊」ノ下ニ「第二
十潜水隊」ヲ加フ

(昭和十二年十二月二日公報(部内限)参照)

○通 牒

官房機密第五二四號

昭和十三年二月一日

海軍省 副官

各廳長殿

第五艦隊宛郵便物發送ノ件通知

第五艦隊ノ編成ハ部外ニ發表セラレザルニ付同艦隊宛
郵便物ハ左記ニ依リ發送シ艦隊名ヲ使用セザル様留意
相成度

記

海軍公報(部内限) 第二千八百二十六號

昭和十三年二月一日

佐世保郵便局氣付

軍艦(驅逐艦) 何々

何 某 宛

海人機密第一號ノ三〇
昭和十三年二月一日

内令提
登載

海軍省人事局長

關係各所轄長殿

臨時ニ配員セラレタル士官ノ考課表調製
ニ關スル件申進

支那事變ノ爲各部ニ臨時配員セラレタル士官ノ考課表ハ左記ニ依リ取扱フコトニ定メラレ候條了知相成度

記

一、海軍武官考課表規則第四條ノ考課表調製期日ニ至ル迄ノ間ニ於テ臨時配員ヲ解カレタル者ノ考課表ハ海軍考課表規則第十二條ノ區分ニ準ジ臨時ニ配員セラレタル各部ニ於テ速ニ之ヲ調製シ順序ヲ經テ(固有ノ所屬ヲ經山シ)進達移牒スルモノトス
二、臨時ニ配員セラレタル者ノ定期考課表モ右ニ準ジ調製進達スルモノトス

○ 辭 令

海軍特務中尉 上村 鶴松
臨時海軍特務部ニ於ケル事務ヲ囑託シ報酬年額貳千百六拾圓ヲ給ス(海軍省)

堀 孝一

北支海軍特務部ニ於ケル事務ヲ囑託ス
但シ報酬月額百五拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

古賀 秀樹

北支海軍特務部ニ於ケル事務ヲ囑託ス
但シ報酬月額百四拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

海軍造兵中佐 岡田 又雄
主トシテ兼務應ニ於テ服務スヘシ(海軍航空本部)

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更
第十一驅逐隊司令ハ二月二十八日司令驅逐艦ヲ一時初雪ヨリ吹雪ニ變更セリ

<p>第十六驅逐隊司令ハ一月三十日司令驅逐艦ヲ朝顔ヨリ芙蓉ニ變更セリ</p>	<p>○軍艦八重山行動豫定</p> <p>地名 着</p> <p>佐世保 一月二十八日 發</p> <p>福岡 一月二十九日</p> <p>舞鶴 三十日</p>	<p>○軍艦春日行動豫定變更<small>(一月十五日)</small></p> <p>二月一日以降ヲ削除ス</p>	<p>○郵便物發送先</p> <p>軍艦八重山宛</p> <p>自今 舞鶴</p>	<p>軍艦加賀艦宛</p> <p>二月十九日迄ニ到達見込ノモノハ</p> <p>其ノ後ハ 横須賀郵便局氣付</p> <p>佐世保郵便局氣付</p>	<p>驅逐艦卯月宛</p> <p>二月十八日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀</p> <p>其ノ後ハ 第三十驅逐隊ニ同ジ</p>	<p>第二十一水雷隊<small>(初雁、友鶴)</small>宛</p>
<p>自今 佐世保郵便局氣付<small>(軍事郵便)</small></p> <p>追而司令宛書類ニシテ千鳥、眞鶴ニ關係アルモノハ同艇宛寫送付相成度</p>						
<p>○郵便物發送先變更<small>(一月十五日)</small></p> <p>軍艦春日宛</p> <p>「同三十一日迄ニ同 横須賀」ヲ「其ノ後ハ 横須賀」ニ改メ「二月四日迄ニ同 徳山」以後ヲ削除ス</p>						

海軍公報(部内限)第二千八百二十六號

昭和十三年二月一日

一〇九

○艦船所在

▲印ハハホシヲ指定ヲ要セズ

○二月一日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、阿武隈▲、大鯨▲、夕張▲、鳳翔▲、八雲、高雄、山城、春日、長門、那珂、加賀

山雲、卯月

伊七▲

伊掃六、掃五、掃一、掃三、掃四

富士▲、尻矢、知床、鳴戸

(飛龍)▲、(劍埼)▲、(高崎)▲

【長浦】太刀風、夕風、松風、春風、朝風、旗風、沖風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、呂五九、呂五八、呂五六

羽風▲

【石川島】

秋風▲

【浦賀】

(霞)▲

【館山】

澤風▲、帆風

【大湊】

神風、沼風、波風、野風

【函館】

大泊

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、長鯨▲、扶桑、鬼怒、熊野、三隈、鈴谷、淀、最上、加古、夕顔、若竹、吳竹、早苗、菊、葵、萩

浦波、磯波、敷波、綾波、漣、矢風

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

呂二八、伊五一▲、伊七一▲、呂三四、呂三三、伊五三、伊五四、伊五七、伊五六、伊五八、伊五五

伊雄、雁、鳩、鷺

攝津、間宮

(千歳)▲、(千代田)▲

古鷹▲

(峯雲)▲

【大阪】

【神戸】

呂六四▲

(朝雲)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

常磐▲

相生

石廊▲

【今治】

大井

【江田内】

平戸、淺間

【宿毛】

陸奥、伊勢、日向、霧島、金剛、山良、川内、迅鯨

夕立、五月雨、村雨、春雨、白露、時雨、有明、夕暮、江風、山風、海風、涼風

伊一、伊二、伊三、伊六、伊四、伊五

【佐伯】

鳥海、摩耶、神通、五十鈴

隴、曙、湖、天霧、朝霧、夕霧、白雲、東雲、薄雲、叢雲

伊六三、伊五九、伊六〇、伊六一、

海軍公報(部内限) 第二千八百二十六號

昭和十三年二月一日

一一一

【舞鶴】

伊六二、伊六四、伊七〇、伊六八、伊六九
吾妻、八重山
皐月、吹雪、初雪、白雪
伊五二

(笹)

【佐世保】

赤城、磐手、榛名、羽黒、那智、北上、
名取

梨、竹、樵、桃、柳、檜、重、夕風、
朝風、若葉、初霜、子日、初春、疾風、
追風、大潮、朝潮、滿潮、荒潮、文月、
水無月、長月、曉

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、
呂六一、呂六二、呂六三、呂六八、
呂六五、呂六七、伊六五、伊六六、
伊六七

千鳥、初雁、友鶴、真鶴、隼
敷島、野島、隠戸

(夏雲)(伊七四)

【長崎】

【鎮海】

【作業地】出雲、天龍、龍田、妙高、多摩、安宅、
嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、
二見、木曾、長良、神威、白鷹、
足柄、沖島、殿島、駒橋、球磨、龍巖

【航海中】

佐多 (一月二十日新嘉坡發)「バーレン」
鶴見 (一月二十七日「タラカン」發)「徳山」
蒼龍 (一月三十一日横須賀發)「有明灣」
伊七二、伊七三 (一月三十一日神戸發)

能登呂、勝力
栗、梅、蓮、雷、響、電、狹霧、
芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、夕月、望月、
三日月、薄、葛、藤、蓼、菱、蓬、
灘風、島風、汐風、陸月、如月、彌生、
峯風、楡
伊二二、伊二一、伊二三、伊二四、
伊二五、伊二六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、
掃一七、掃一八
朝日、室戸、襟裳、洲崎、早鞆、膠州

(號外七頁添)

(限 内 部)

1483

海軍公報 (部内限) 號外

○ 雜款

○ 判決
判 決

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十三年二月一日(火)
海軍大臣官房

1484

海軍公報 (部内限) 號外

二

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

海軍公報 (部内限) 號外

六

1485

1486

海軍海公(部内限)號外

四

海軍公報 (部内限) 號外

五

1488

海軍公報 (部内限) 號外

六

海軍公報 (部内限) 號外

七

海軍公報

(部内限) 第二千八百二十七號

海軍大臣官房

昭和十三年二月二日(水)

○ 令 達

官房第五〇〇號

昭和十二年官房第四四九六號中左ノ通改正ス

昭和十三年二月一日

海 軍 大 臣

表ヲ左ノ如ク改ム

海軍軍用郵便所		名稱	第二海軍軍用郵便所	第三海軍軍用郵便所	第四海軍軍用郵便所
		設置所	特務艦朝日	(第四艦隊ノ一艦 北支派遣部隊)	(第五艦隊ノ一艦 南支派遣部隊)
		所管	佐世保鎮守府	同 上	同 上
		所屬	第三艦隊	第四艦隊	第五艦隊
		職員	所長 專任一人 奏任 所員 專任四人 判任	所長 專任一人 奏任 所員 專任四人 判任	所長 專任一人 奏任 所員 專任二人 判任

備 考	<p>一、所屬長官ハ海軍大臣ノ承認ヲ受ケ海軍軍用郵便所ヲ部下艦船部隊ニ移動スルコトヲ得</p> <p>二、所屬長官ハ必要ニ應ジ海軍大臣ノ承認ヲ受ケ設置所以外ノ部下艦船部隊ニ職員ノ一部ヲ派出シ軍事郵便事務ヲ取扱ハシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ第一派出所、第二派出所等ト稱ス</p>
(參照)	<p>昭和十二年官房第四四九六號ハ海軍軍用郵便所設置ノ件ナリ(昭和十二年九月一日海軍公報)</p>

○ 通 牒	<p>經契第三號ノ八三</p> <p>昭和十三年一月十五日</p> <p>海軍省經理局長</p> <p>關係各廳長殿</p> <p>夜光ベイント(粉末、稀釋劑、結合劑)</p> <p>購買合併契約ノ件通牒</p>
-------	--

海軍公報(部内限) 第二千八百二十七號 昭和十三年二月二日

首題ノ件ニ關シ左記ノ通株式會社日本夜光塗料製造所
藤倉工業株式會社ト契約締結致候條左記ニ依リ處理相
成度

契 約 書

海軍省經理局長村上春一(以下甲ト稱ス)ハ夜光ペイ
ント(粉末、稀釋劑、結合劑)(以下本品ト稱ス)ニ就
キ昭和十三年一月十五日ヨリ昭和十三年三月末日迄ニ
註文スルモノノ供給ニ關シ株式會社日本夜光塗料製造
所取締役社長上田良武及藤倉工業株式會社取締役社長
松本留吉(以下乙ト稱ス)ト契約スルコト左ノ如シ

第一條 乙ハ昭和十三年一月十五日以降昭和十三年三
月末日ニ至ル間ニ於ケル横須賀海軍工廠、吳海軍工
廠、佐世保海軍工廠、舞鶴海軍工廠、横須賀海軍軍
需部、吳海軍軍需部、佐世保海軍軍需部、舞鶴海軍
軍需部、廣海軍工廠並ニ海軍航空廠(以下丙ト稱ス)
ノ註文ニ依リ本品ヲ供給スルモノトス

第二條 本品單價ハ粉末一瓦(適量ノ稀釋劑、結合劑
ヲ含ム)ニ付金五十圓トシテ納入地(内地ニ限ル)
迄ノ運賃共ノ他納入ニ要スル一切ノ費用ヲ含ムモノ
トス特殊規格ノモノニシテ前項單價ニ依リ難キモノ

アルトキハ其ノ都度丙ニ於テ直接契約スルモノトス
第三條 本品ハアメリカカン、ラヂウム、コーポレーシ
ヨシノアングラークDト同等以上ノモノタルヲ要ス
第四條 丙本品ノ供給ヲ受ケントスルトキハ其ノ品
名、數量、納期、納入場所其ノ他必要事項ヲ記載シ
タル註文書(様式甲)ニ一通ヲ作製シ一通ヲ直接乙ニ
他ノ一通ヲ監督官ニ送付スルモノトス

第五條 乙ハ前條註文書ヲ受領シタルトキハ購買番
號、單價、代價共ノ他必要ナル事項ヲ記載セル明細
書(様式乙)ヲ監督官ヲ經テ丙ニ提出スルモノトス
第六條 乙ハ供給スベキ本品ノ製造工事ニ就テハ總テ
監督官ノ監督検査ヲ受クルモノトス

前項ノ場合丙ハ監督検査委託ノ手續ヲ要セザルモノ
トス

第七條 本品納入地ニ到達シタルトキハ受領者ハ必要
ト認ムル検査ヲ行ヒ之ガ引渡ヲ受クルモノトス
第八條 本品引渡後一箇年以内ニ著シク光度減シタル
モノアリタルトキハ乙ハ丙ノ要求ニ依リ其ノ指定期

限内ニ無償ニテ之ガ代品ヲ納入スルモノトス
第九條 乙ハ本品ノ納入ヲ終リタルトキハ内譯明細書
ヲ附シタル代金請求書ヲ註文者ニ提出スルモノトス

分割納入ノ場合ニ在リテハ前項ニ準ジ請求書ヲ提出
スルモノトス

第十條 官ニ納入シタル本品代價ハ前條ニ依リ代金請
求書受理後十五日以内ニ當該支出官ニ於テ支拂フモ
ノトス

第十一條 乙ハ當該支出官ノ承諾ヲ受クルニ非ザレバ
本契約ニ依リテ生スル官ニ對スル債權ヲ第三者ニ讓
渡セザルモノトス

第十二條 甲ハ必要ト認ムル場合ニハ甲ノ指定スル官
吏ヲシテ本品ノ原價ヲ調査セシムルコトアルベシ
此ノ場合乙ハ官ニ於テ必要ト認ムル資料ヲ提出スル
モノトス

第十三條 乙ハ本契約ニ關シテハ軍事上ノ秘密ヲ嚴守
スルノ義務アルモノトス

第十四條 本契約ニ定ムルモノノ外ハ海軍契約規程並
ニ海軍契約規程施行手續ニ依ルモノトス

右契約ヲ證スル爲本書二通ヲ作り各自記名捺印シテ各
其ノ一通ヲ保有ス

昭和十三年一月十五日

海軍省經理局長 村上 春 一

東京市品川區北品川四丁目七百十五番地

海軍公報(部内限) 第二千八百二十七號

昭和十三年二月二日

一一五

株式會社日本夜光塗料製造所

取締役社長 上田 良武

東京市品川區五反田三丁目百三十二番地

藤倉工業株式會社

取締役社長 松本 留吉

(別紙様式添)

○ 辭 令

軍令部出仕海軍大尉 田邊 彌八

第四部第十課勤務ヲ命ス(軍令部)

○ 雜 款

○ 將旗移揚

第一根據地隊司令官ハ一月十六日將旗ヲ一時朝日ヨリ
白鷹ニ移揚シ一月二十二日朝日ニ復歸セリ

横須賀警備戰隊司令官ハ一月三十一日將旗ヲ長門ヨリ
山雲ニ移揚シ即日長門ニ復歸セリ

第四航空戰隊司令官ハ一月三十一日將旗ヲ能登呂ヨリ
衣笠丸ニ移揚セリ (イ三三三)

○ 司令驅逐艦變更

第十二驅逐隊司令ハ一月二十九日司令驅逐艦ヲ一時白雲ヨリ叢雲ニ變更シ一月三十日白雲ニ復歸セリ

○郵便物發送先
驅逐艦吹雪宛

自今

新舞鶴

追テ第十一驅逐隊又ハ同司令宛書類ニシテ同艦ニ配付ヲ要スルモノハ其ノ寫ヲ同艦宛直送相成度
尙第十一驅逐隊機關長ハ吹雪ニ乘艦ス

様式甲

番 號

昭 和 年 月 日

發 註 元 名

、 、 、 會 社 御 中

自昭和十三年一月十五日 夜光ペイント(粉末、稀釋劑、結合劑)註文書
至昭和十三年三月 末 日

購買番號		納入場所		
用 途		納 期		
品 名	數 量	單 價	代 價	記 事

(昭和十二年二月三日公報(部内限)別紙)

1494

様式乙

監督官經由

(番 號)

昭 和 年 月 日

受 註 會 社 名

註 文 先 御 中

自昭和十三年一月十五日
至昭和十三年三月末日 夜光ペイント(粉末、稀釋劑、結合劑)注文承諾書

東監(阪監)番號

購買番號			納 期		
註 文 年 月 日			納 入 場 所		
用 途					
品 名	數 量	單 價	代 價	記 事	

備考 指定期限内ニ引受ケ難キトキハ希望納期ヲ納期欄ニ記入ス
ルト共ニ其ノ理由符箋ノコト

1495

○艦船所在

△印ハ、ハホフ
指定ヲ要セズ

○二月二日午前十時調

【横須賀】

對馬△、愛宕△、阿武隈△、大鯨△、夕張△、
鳳翔△、高雄、山城、春日、長門、加賀

山雲、卯月

伊七△

△掃六、掃五、掃一、掃三、掃四

富士△、尻矢、知床、鳴戸

(飛龍)△、(劍崎)△、(高崎)△

【長浦】△太刀風、夕風、帆風、松風、春風、朝風、
旗風、沖風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七△

呂五九△、呂五八、呂六六

羽風△

【石川島】

秋風△

(霞)△

【館山】

澤風△、沼風、波風、野風

【大湊】

神風、矢矧、韓崎、比叡△、衣笠、青葉、長鯨△、
扶桑、鬼怒、熊野、三隈、鈴谷、淀、
最上、加古

夕顔、若竹、吳竹、早苗、菊、葵、萩、
浦波、磯波、敷波、綾波、初雪、白雪、

漣、矢風

呂五一△、呂五三△、呂二六、呂二七△

呂二八、伊五一△、伊七一△、呂三三、
伊五三、伊五四、伊五七、伊五六、
伊五八、伊五五、伊七二、伊七三

伊七三、伊七二、伊七三

雄、雁、鳩、鷺

攝津、間宮、室戸

(千歳)△、(千代田)△

古鷹△

(峯雲)△

呂六四△

(朝雲)△、(伊八)△、(伊七五)△

常磐△

石廊△

大井

平戸、淺間

【江田内】△陸奥、伊勢、日向、霧島、金剛、山良、
川内、迅鯨

夕立、五月雨、村雨、春雨、白露、時雨、
有明、夕暮、江風、山風、海風、涼風

伊一、伊二、伊三、伊六、伊四、伊五

伊海、摩耶、神通、五十鈴

隴、曙、潮、天霧、朝霧、夕霧、白雲、
東雲、薄雲、叢雲

伊六三、伊五九、伊六〇、伊六一、

伊六二、伊六三、伊五九、伊六〇、伊六一、

伊六二、伊六三、伊五九、伊六〇、伊六一、

伊六二、伊六三、伊五九、伊六〇、伊六一、

海軍公報(部内限) 第二千八百二十七號

昭和十三年二月二日

二七

【舞鶴】

伊六二、伊六四、伊七〇、伊六八、伊六九
吾妻、八重山
皐月、吹雪
伊五二
(叢)

【佐世保】

赤城、磐手、榛名、羽黒、那智、北上、

▷名取

梨、竹、樵、桃、柳、檜、葦、夕風、朝風、若葉、初霜、子日、初春、大潮、朝潮、満潮、荒潮、文月、水無月、長月、曉、峯風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、

呂六一、呂六二、呂六三、呂六八、

呂六五、呂六七、伊六五、伊六六、

伊六七

千島、初雁、友鶴、真鶴、隼

敷島

(夏雲) (伊七四)

【長崎】

(利根)

【作業地】 出雲、天龍、龍田、妙高、多摩、安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、木曾、長良、神威、白鷹、足柄、沖島、殿島、駒橋、球磨、龍崎、能登呂、勝力

【航海中】

佐多 (二月二十日新嘉坡發)「バーレン」
鶴見 (二月二十七日「タラカン」發)「徳山」
蒼龍 (二月三十一日横須賀發)「有明灣」
八雲 (一日横須賀發)「東京灣」
葦、柿 (一日鎮海發)「元山」
隠戸 (一日佐世保發)「徳山」
那珂 (二日假泊地發)「宿毛」

栗、梅、蓮、雷、響、電、狭霧、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、夕月、望月、三日月、薄、葛、藤、蓼、菱、蓬、灘風、島風、汐風、陸月、如月、彌生、楡、疾風、追風
伊二二、伊二一、伊二三、伊二四、伊二五、伊二六、伊二七、伊二八、伊二九、伊三〇、伊三一、伊三二、伊三三、伊三四、伊三五、伊三六、伊三七、伊三八、伊三九、伊四〇、伊四一、伊四二、伊四三、伊四四、伊四五、伊四六、伊四七、伊四八、伊四九、伊五〇、伊五一、伊五二、伊五三、伊五四、伊五五、伊五六、伊五七、伊五八、伊五九、伊六〇、伊六一、伊六二、伊六三、伊六四、伊六五、伊六六、伊六七、伊六八、伊六九、伊七〇、伊七一、伊七二、伊七三、伊七四、伊七五、伊七六、伊七七、伊七八、伊七九、伊八〇、伊八一、伊八二、伊八三、伊八四、伊八五、伊八六、伊八七、伊八八、伊八九、伊九〇、伊九一、伊九二、伊九三、伊九四、伊九五、伊九六、伊九七、伊九八、伊九九、伊一〇〇

(様式二頁、辭令公報添)

海軍公報

(部内限) 第二千八百二十八號

昭和十三年二月三日(木)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房機密第五七一號

部外工場事業場管理規程ニ依ル監理長ハ海軍官印規程第三條ノ規定ニ拘ラズ職印ヲ備フルコトヲ得前項ノ職印ハ海軍省經理局ニ於テ交付スルモノトス

昭和十三年二月三日

海軍大臣

官房機密第五七二號

昭和二年官房機密第九六三號別表中「電壓計、電流計」ノ下ニ「卓上燈」ヲ加フ

昭和十三年二月三日

海軍大臣

**内令提
要登載**

(参照) 昭和二年官房機密第九六三號ハ上海ニ於テ軍需品ノ供給ヲ開始スルノ件ナリ

○ 通 牒

艦本機密兵電第一一八號

昭和十三年二月三日

海軍艦政本部長

各海軍工廠長

各要港部工作部長

各海軍軍需部長

舞鶴要港部軍需部長

安全鎔解線(五六一A)同片(一〇〇A)處理ノ件通牒(機關長主管)

首題ノ件左記ニ依リ處理スベシ

記

一、軍需部在庫限供給ノコトトシ爾今兵器トシテ補充ヲ行ハズ

二、在庫無キモノニ對シテハ修理請求ニ依リ工作應ヨリ供給ノコト

○ 辭 令

海軍公報(部内限) 第二千八百二十八號

昭和十三年二月三日

一一九

海軍火藥廠爆藥部部員

海軍造兵中佐 栗田 茂策

福岡監理官兼八幡監理官ヲ命ス(訪海軍省)

○ 雜 款

○ 旗艦變更

第四航空戰隊司令官ハ一月三十一日旗艦ヲ能登呂ヨリ衣笠丸ニ變更セリ

○ 司令驅逐艦變更

第二十二驅逐隊司令官ハ二月二日司令驅逐艦ヲ一時文月ヨリ水無月ニ變更セリ

○ 司令水雷艇變更

第二十一水雷隊司令官ハ二月一日司令水雷艇ヲ一時千島ヨリ初雁ニ變更セリ

○ 特務艦隱戶行動豫定

地名	着	發
佐保		二月一日
德山		二月四日
鎮海		二月六日
旅順		二月十二日
作業地		二月十四日

德山	十九日	二十日
吳山	二十一日	二十七日
德山	二十七日	三月一日
佐世保	三月二日	同日

○ 郵便物發送先

第九驅逐隊(有明、夕暮)宛
二月十二日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀
共ノ後ハ 聯合艦隊司令部ニ同ジ

特務艦隱戶宛

二月四日迄ニ到達見込ノモノハ	德山
同日迄ニ	鎮海
同日迄ニ	德山
同日迄ニ	吳山
同日迄ニ	佐世保

○ 取消

昨二日本欄第四航空戰隊司令官ノ將旗移揚ヲ取消ス

○艦船所在

▲印ハハホフ
指定ヲ要セズ

○二月三日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、阿武隈▲、大鯨▲、夕張▲、鳳翔▲、高雄、山城、八雲、春日、長門、加賀

山雲▲、卯月

伊七▲

掃六、掃五、掃一、掃三、掃四

富士▲、尻矢、知床、鳴戸

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】

太刀風、夕風、帆風、松風、春風、朝風、旗風、沖風

呂五四▲、呂五五▲、呂五六▲、呂五七▲、呂五九▲、呂五八▲、呂五六▲

羽風▲

秋風▲

(霞)▲

澤風▲

神風、沼風、波風、野風

大泊

矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、長鯨▲、扶桑、淀、最上、加古、大井

夕顔、若竹、吳竹、早苗、菊、葵、萩

浦波、磯波、敷波、綾波、初雪、白雪

漣、矢風

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一▲、伊七一▲、呂三四▲

呂三三▲、伊五三▲、伊五四▲、伊五七▲

伊五六▲、伊五八▲、伊五五▲、伊七二▲

伊七三▲

雌、雁、鳩、鷺

攝津、間宮、室戸

(千歲)▲(千代田)▲

古鷹▲

(峯雲)▲

神戶

呂六四▲(朝雲)▲(伊八)▲(伊七五)▲

常磐▲

石廊▲

平戸、淺間

江田内

隱戸

宿毛

陸奥、伊勢、日向、霧島、金剛、山良

川内、迅鯨

夕立、五月雨、村雨、春雨、白露、時雨

夕暮、江風、山風、海風、涼風

伊一、伊二、伊三、伊六、伊四、伊五

鳥海、摩耶、神通、五十鈴、熊野

三隈、鈴谷

隴、曙、潮、天霧、朝霧、夕霧、白雲

東雲、薄雲、叢雲

【舞鶴】

- 伊六三、伊五九、伊六〇、伊六一、伊六二、伊六四、伊七〇、伊六八、伊六九
- 吾妻、八重山
- 皐月、吹雪
- 伊五二
- (蔽)

【佐世保】

- 赤城、磐手、榛名、羽黑、那智、北上、
- ▽名取

- 梨、竹、榎、桃、柳、檜、蓮、夕風、朝風、若葉、初霜、子日、初春、大潮、朝潮、滿潮、荒潮、文月、水無月、長月、曉、峯風

- 呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇
- 呂六一、呂六二、呂六三、呂六八、呂六五、伊六六、伊六七
- 千鳥、真鶴、隼
- 敷島、襟裳
- (夏雲)(伊七四)

【長崎】(利根)

【有明灣】蒼龍

- 疾風、追風

【元山】葦、柿

【作業地】

- ▽出雲、天龍、龍田、妙高、多摩、安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、木曾、長良、神威、白鷹、足柄、沖島、殿島、駒橋、球磨、龍驤、能登呂、勝力
- 栗、梅、蓮、雷、響、電、狹霧、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、夕月、望月、三日月、薄、蔦、藤、菱、蓬、灘風、島風、沙風、陸月、如月、彌生、榆、有明

- 伊二二、伊二一、伊二三、伊二四、伊二五、伊二六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

- 朝日、洲崎、早鞆、膠州、野島
- 佐多
- 鶴見
- 那珂
- 鬼怒

【航海中】

- (一月二十日新嘉坡發)「バーレン」
- (一月二十七日「タラカン」發)「徳山」
- (三日假泊地發)「宿毛」
- (二日吳發)「宿毛」

(辭令公報添)



海軍公報

(部内限) 第二千八百二十九號

昭和十三年二月四日(金)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房第五六〇號

昭和十三年二月四日

海軍大臣

關係各所屬長官殿

特設艦船ニ非ザル徵備船舶ノ固有船員等

ニ對スル海軍ノ人事取扱ニ關スル件訓令

支那事變ノ爲徵備セル特設艦船ニ非ザル徵備船舶ノ固有ノ船員及之ニ準ズル其ノ他ノ人員ニ對スル海軍ノ人事ハ該船舶ヲ使役シアル艦船部隊官衙ノ所屬長官又ハ其ノ指定スル廳長之ヲ取扱フ義ト心得ベシ

○ 通 牒

經豫第三號ノ一

昭和十三年二月二日

海軍省經理局長

關係各支出官(殿) 資金前渡官吏(殿)

昭和十二年經豫第三號ノ四六昭和十二年度航空隊設備費(土木建築ニ關スル經費ヲ除ク)整理區分中左記ノ通改メラレ候

記

二イ(ロ)横須賀海軍航空隊中

「第三十七期及第三十八期偵察練習生」ヲ「第三十七

期、第三十八期及第三十九期偵察練習生」ニ改ム

四期普通科整備術練習生」ニ改ム

○ 辭 令

東京監理官ヲ命ス

海軍總政本部出仕兼
造兵監督官海軍大佐

鈴木 春松

成瀬 關次郎

第三艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限委任官待遇トス(以上詰海軍省)

海軍公報(部内限) 第二千八百二十九號

昭和十三年二月四日

二三三

海軍公報(部内限) 第二千八百二十九號 昭和十三年二月四日

○雜款

○軍艦最上行動豫定

地名	着	發
吳		二月八日
佐伯	二月八日	十四日
吳	十四日	

○郵便物發送先

軍艦最上宛
 二月七日迄ニ到達見込ノモノハ 吳
 同 十三日迄ニ 同 大分縣佐伯
 其ノ後ハ 吳

○軍事教育圖書

昭和十二年十二月中納庫セル軍事教育圖書左ノ如シ
 (海軍文庫)

圖書名	標記番號	類別番號
昭和十二年水雷術年報 第一	海軍教育秘書 第三百二十五號A	備品 七四七一A
軍機保護法	海軍教育 第九百九十二號	同 九三三一

○艦船所在 ▲印ハホフ
指定ヲ要セズ

○二月四日午前十時調

【横須賀】 對馬▲、愛宕▲、阿武隈▲、大鯨▲、夕張▲、鳳翔▲、高雄、山城、八雲、春日、長門、加賀

山雲▲、卯月、有明

伊七▲

掃六、掃五、掃一、掃三、掃四
富士▲、尻矢、鳴戸

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】 太刀風、夕風、帆風、松風、春風、朝風、旗風、沖風

呂五四▲、呂五五▲、呂五六▲、呂五七▲、呂五九▲、呂五八▲、呂五六▲

【石川島】 羽風▲

【浦賀】 秋風▲

(霞)▲

【館山】 澤風▲

【大湊】 神風、沼風、波風、野風

【吳】 矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、長鯨▲、扶桑、淀、最上、加古、大井

夕顔、若竹、吳竹、早苗、菊、葵、萩、浦波、磯波、敷波、綾波、初雪、白雪

漣▲、矢風

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲、呂二八▲、伊五一▲、伊七一▲、呂三四▲、呂三三▲、伊五三▲、伊五四▲、伊五七▲、伊五六▲、伊五八▲、伊五五▲、伊七二▲、伊七三

伊七三

雄、雁、鳩、鷺

攝津、間宮、室戸

(千歲)▲(千代田)▲

【大阪】 古鷹▲

【神戸】 呂六四▲

【相生】 常磐▲

【江田内】 平戸、淺間

【宿毛】 陸奥、伊勢、日向、霧島、金剛、山良、鬼怒、川内、迅鯨

夕立、五月雨、村雨、春雨、白露、時雨、夕暮、江風、山風、海風、涼風

【佐伯】 島海、摩耶、藤野、三隈、鈴谷、神通、五十鈴

【鹿】 曙、潮、天霧、朝霧、夕霧、白雲

海軍公報(部内限) 第二千八百二十九號 昭和十三年二月四日

【舞鶴】

東雲、薄雲、叢雲
伊六三、伊五九、伊六〇、伊六一、
伊六二、伊六四、伊七〇、伊六八、
伊六九
吾妻、八重山
皐月、吹雪
伊五二

【佐世保】

赤城、磐手、榛名、羽黑、那智、北上、
▽名取

梨、竹、榎、桃、柳、檜、萱、夕風、
朝風、若葉、初霜、子日、初春、大潮、
朝潮、滿潮、荒潮、文月、長月、曉、峯風、
呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、呂六〇、
呂六一、呂六二、呂六三、呂六八、
呂六五、呂六七、伊六五、伊六六、
伊六七

千鳥、真鶴、隼

敷島、襟裳

夏雲(伊七四)

【長崎】

有利根

蒼龍

【有明海】

疾風、追風

【鎮海】

元山、葦、柿

【作業地】

出雲、天龍、龍田、妙高、多摩、安宅、
嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、
二見、木曾、長良、神威、白鷹、
足柄、沖島、殿島、駒橋、球磨、龍驤、
能登呂、勝力

栗、梅、蓮、雷、響、電、狹霧、
芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、夕月、望月、
三日月、薄、葛、藤、蓼、菱、蓬、
灘風、島風、汐風、陸月、如月、彌生、
水無月

伊二二、伊二一、伊二三、伊二四、
伊二五、伊二六、伊二七、伊二八、
伊二九、伊三〇、伊三一、伊三二、伊三三、
伊三四、伊三五、伊三六、伊三七、伊三八、
伊三九、伊四〇、伊四一、伊四二、伊四三、
伊四四、伊四五、伊四六、伊四七、伊四八、
伊四九、伊五〇、伊五一、伊五二、伊五三、
伊五四、伊五五、伊五六、伊五七、伊五八、
伊五九、伊六〇、伊六一、伊六二、伊六三、
伊六四、伊六五、伊六六、伊六七、伊六八、
伊六九、伊七〇、伊七一、伊七二、伊七三、
伊七四、伊七五、伊七六、伊七七、伊七八、
伊七九、伊八〇、伊八一、伊八二、伊八三、
伊八四、伊八五、伊八六、伊八七、伊八八、
伊八九、伊九〇、伊九一、伊九二、伊九三、
伊九四、伊九五、伊九六、伊九七、伊九八、
伊九九、伊一〇〇

朝日、洲崎、早鞆、膠州、野島

【航海中】

佐多 (一月二十日新嘉坡發「バーレン」)
鶴見 (一月二十七日「タラカン」發「徳山」)
那珂 (二日假泊地發「宿毛」)
知床 (三日横須賀發「吳」)

海軍公報

(部内限) 第二千八百三十號

昭和十三年二月五日(土)

海軍大臣官房

○通牒

艦本機密第二一九號

昭和十三年二月二日

海軍艦政本部長

横須賀 海軍軍需部長 殿
吳 佐世保 舞鶴要港部軍需部長

海軍砲射表加除訂正ニ關スル件通牒

首題ニ關シ挿替追加其ノ他ノ訂正紙ヲ受領シタル場合ハ左記ニ依リ之ヲ處理スベシ

記

- 一、在庫射表 加除訂正ヲ施行シタル後不要トナリタル用紙ハ焼却スルモノトス
- 二、供用射表 各供給先ニ所要ノ訂正紙ヲ送付シ不要トナリタル用紙ハ軍需部ニ還納セシメタル上焼却スルモノトス

○辭令

第三課勤務ヲ命ス(前海軍省經理局)

海軍主計少佐 中村 朋徳

○雜款

○旗艦變更
第四艦隊司令長官ハ二月四日旗艦ヲ一時足柄ヨリ沖島ニ變更セリ

○司令潜水艦變更
第十三潜水隊司令ハ一月三十日司令潜水艦ヲ伊號第二十二號潜水艦ヨリ伊號第二十一號潜水艦ニ變更セリ

海軍公報(部内限) 第二千八百三十號 昭和十三年二月五日

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○二月五日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、阿武隈▲、大鯨▲、夕張▲、鳳翔▲、高雄、山城、▽八雲、▽長門、加賀

山雲▲、卯月、有明▲

伊七▲

▽掃六、掃五、掃一、掃三、掃四

富士▲、尻矢、鳴戸

(飛龍)▲、(劍埼)▲、(高崎)▲

【長浦】

▽太刀風、夕風、帆風、▽松風、春風、朝風、旗風、沖風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五九▲、呂五八、呂六六

【石川島】

羽風▲

【浦賀】

秋風▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

▽神風、沼風、波風、野風

【吳】

大泊 矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、長鯨▲、扶桑、淀、最上、▽加古、大井

夕顔、▽若竹、吳竹、早苗、▽菊、葵、萩、▽浦波、磯波、敷波、綾波、初雪、白雪、

漣▲、矢風

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

呂二八、伊五一▲、伊七一▲、▽呂三四、

呂三三、▽伊五三、伊五四、▽伊五七、

伊五六、伊五八、伊五五、▽伊七二▲、

伊七三

▽雉、雁、鳩、鷺

攝津、間宮、室戸

(千歳)▲、(千代田)▲

【大阪】

古鷹▲

(峯雲)▲

【神戸】

呂六四▲ (朝雲)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

【相生】

常磐▲

【江田内】

平戸、淺間

【宿毛】

▽陸奥、伊勢、日向、▽霧島、金剛、▽由良、

鬼怒、那珂、▽川内、▽迅鯨

▽夕立、五月雨、村雨、春雨、▽白露、時雨、

夕暮、▽江風、山風、海風、涼風

【須崎】

▽伊一、伊二、伊三、▽伊六、伊四、伊五

【佐伯】

▽五十鈴 伯口島海、摩耶、▽熊野、三隈、鈴谷、▽神通、

▽隴、曙、潮、▽天霧、朝霧、夕霧、▽白雲、

海軍公報(部内限)第二千八百三十號 昭和十三年二月五日

二二九

【舞鶴】

東雲、薄雲、叢雲
 伊六三、伊五九、伊六〇、伊六一、
 伊六二、伊六四、伊七〇、伊六八、
 伊六九
 吾妻、八重山
 皐月、吹雪
 伊五二
 (夜)▲

【佐世保】

赤城、磐手、榛名、羽黑、那智、北上、
 ▲名取▲
 梨、竹、榎、桃、柳、檜、蓮、夕風、
 朝風、若葉、初霜、子日、初春、大潮、
 朝潮、滿潮、荒潮、文月、長月、曉、峯風
 呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、
 呂六一▲、呂六二▲、呂六三▲、呂六八、
 呂六五、呂六六、呂六七、伊六六、
 伊六七

【長崎】

(利根)▲
 (夏雲)▲ (伊七四)▲
 敷島▲、襟裳、早鞆▲

【有明灣】

蒼龍
 疾風、追風

【西湖津】

栲

【作業地】

出雲、天龍、龍田、妙高、多摩、安宅、
 嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、
 二見、木曾、長良、神威、白鷹、
 沖島、足柄、巖島、駒橋、球磨、龍驤、
 能登呂

栗、梅、蓮、雷、響、電、狭霧、
 芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、夕月、望月、
 三月月、薄、葛、藤、蓼、菱、蓬、
 灘風、島風、汐風、陸月、如月、彌生、
 水無月、楡
 伊二一、伊二二、伊二三、伊二四、
 伊二五、初雁、友鶴
 掃二、掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、
 掃一七、掃一八
 朝日、洲崎、膠州、野島

【航海中】

佐多 (二月二十日新嘉坡發)「バーレン」(ハ)
 鶴見 (一月二十七日「タラク」發)「徳山」(ハ)
 知床 (三日横須賀發)「吳」(ハ)
 隠戸 (四日徳山發)「鎮海」(ハ)
 春日 (五日横須賀發)「吳」(ハ)

(辭令公報添)

1509

海軍公報

(部内限) 第二千八百三十一號

海軍大臣官房

昭和十三年二月七日(月)

○通牒

官房機密第六三八號

昭和十三年二月七日

海軍省副官

關係各廳長殿

北支海軍特務部部員ノ呼稱ニ關スル件通牒

北支海軍特務部部員ハ其ノ在勤地ニ依リ左記ノ通呼稱
スルコトニ一定セラレ候

記

呼稱	略稱	稱
北平在勤北支海軍特務部部員	北平特務部員	
天津在勤北支海軍特務部部員	天津特務部員	
青島在勤北支海軍特務部部員	青島特務部員	

自然消滅

青島在勤北支海軍特務部部員 青島特務部員

備 在勤武官ノ姓ヲ冠シ何々北平在勤北支海軍特務部
部員、何々天津特務部部員等ト呼稱スルコト
考 フ得

○辭令

海軍省事務ヲ囑託ス

農林書記官

須田 立

海軍省事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(以上)

長田 景貞

(海軍省)

通信書記 平 信利

(各通)

同 久保田 善滿

第二海軍軍用郵便所所員ヲ命ス

但シ身分ノ取扱ハ判任官ニ準ス

通信書記 中村 清三郎

同 佐藤 昇

(各通)

海軍公報(部内限) 第二千八百三十一號 昭和十三年二月七日

一三一

第三海軍軍用郵便所所員ヲ命ス
但シ身分ノ取扱ハ判任官ニ準ス
通信事務官 柿澤 正規

第四海軍軍用郵便所所長ヲ命ス
但シ身分ノ取扱ハ奏任官ニ準ス
通信局書記 有澤 外次郎
通信書記 高田 要

第四海軍軍用郵便所所員ヲ命ス
但シ身分ノ取扱ハ判任官ニ準ス(以上同)
遞信技師 松前 重義
同 篠原 登

海軍技術研究所ニ於ケル造兵業務ヲ囑託ス
竹澤 五十衛

海軍ニ於ケル造船業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇ト
ス(以上同)
海軍少佐 香西 弓夫

在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(前海軍航空本
部)

○ 雜 款

○ 旗艦變更

第八戰隊司令官ハ二月五日旗艦ヲ由良ヨリ那珂ニ變更
セリ

第四航空戰隊司令官ハ二月五日旗艦ヲ衣笠丸ヨリ能登
呂ニ變更セリ

○司令驅逐艦變更
第十五驅逐隊司令ハ二月六日司令驅逐艦ヲ一時薄ヨリ
藤ニ變更セリ

○軍艦加古行動豫定

地名 着 發
吳 新 港 二月七日 二月七日
吳 港 十日 十日

○郵便物發送先
吳警備戰隊司令部、軍艦加古宛
二月九日迄ニ到達見込ノモノハ 山口縣新港
其ノ後ハ 吳

第十一水雷隊宛
二月九日迄ニ到達見込ノモノハ 山口縣新港
同 十一日迄ニ同 吳
同 十四日迄ニ同 山口縣新港
其ノ後ハ 吳

○艦船所在

▲印ハ「ハ」ホ「フ」指定ヲ要セズ

○二月七日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、阿武隈、大鯨▲、夕張▲、鳳翔▲、高雄、山城、▷八雲、▷長門、加賀▲

山雲▲、卯月、有明▲、夕暮

伊七▲

▷掃六、掃五、掃一、掃三、掃四

富士▲、尻矢、鳴戸

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】▷太刀風、夕風、帆風、▷松風、春風、朝風、旗風、沖風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五九▲、呂五八、呂六六

【石川島】

羽風▲

【浦賀】

秋風▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

▷神風、沼風、波風、野風

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、長鯨▲、扶桑、淀、最上、▷加古

▷浦波、磯波、敷波、綾波、初雪、白雪、夕顔、▷若竹、吳竹、早苗、▷菊、葵、萩

漣▲、矢風

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

呂二八、伊五一▲、伊七一▲、▷呂三四、

呂三三、▷伊五三、伊五四、▷伊五七、

伊五六、伊五八、伊五五、▷伊七二▲

伊七三

▷雜、雁、鳩、鷺

攝津、間宮、知床

(千歲)▲(千代田)▲

古鷹▲

(峯雲)▲

【大阪】

呂六四▲

【神戸】

(朝雲)▲(伊八)▲(伊七五)▲

【相生】

常磐▲

石廊▲

【多度津】

大井

【江田内】

平戸、淺間

【宿毛】

▷陸奥、伊勢、日向、▷霧島、金剛、▷那珂、鬼怒、由良、▷川内、▷迅鯨

▷夕立、五月雨、村雨、春雨、▷白露、時雨、

▷江風、山風、海風、涼風

▷伊一、伊二、伊三、▷伊六、伊四、伊五

▷伊海、摩耶、▷熊野、三隈、鈴谷、▷神通、

▷五十鈴

▷隴、曙、潮、▷天霧、朝霧、夕霧、▷白雲、

海軍公報(部内限) 第二千八百三十一號 昭和十三年二月七日

一三三

東雲、薄雲、叢雲

伊六三、伊五九、伊六〇、伊六一、

伊六二、伊六四、伊七〇、伊六八、

伊六九

【舞鶴】

吾妻、八重山

皐月、吹雪

伊五二

(箴)

【佐世保】

赤城、磐手、榛名、羽黒、那智、北上、

名取

梨、竹、榎、桃、柳、檜、蓮、夕風、

朝風、若葉、初霜、子日、初春、大潮、

朝潮、満潮、荒潮、水無月、長月、峯風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、

呂六一、呂六二、呂六三、呂六八、

呂六五、呂六七、伊六五、伊六六、

伊六七

千鳥、真鶴、隼

敷島、襟裳、早鞆

(夏雲)(伊七四)

【長崎】(利根)

【有明灣】(蒼龍)

疾風、追風

【雄基】(葦)

【作業地】(山雲、天龍、龍田、妙高、多摩、安宅、

嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、

二見、木曾、長良、神威、白鷹、

沖島、足柄、殿島、駒橋、球磨、龍驤、

龍登呂、勝力

栗、枳、蓮、雷、響、電、狹霧、曉、

芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、夕月、望月、

三日月、藤、薄、葛、蓼、菱、蓬、

灘風、島風、沙風、陸月、如月、彌生、

楡、文月

伊二一、伊二二、伊二三、伊二四、

伊二五、伊二六、伊二七、友鶴

掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、

掃六、掃七、掃八

朝日、洲崎、膠州、野島、隠戸、室戸

【航海中】

佐多 (二月二十日新嘉坡發「バーレン」)

鶴見 (二月二十七日「タラカン」發「徳山」)

春日 (五日横須賀發「吳」)

柿 (六日長崎發「西湖津」)

海軍公報

(部内限) 第二千八百三十二號

海軍大臣官房

昭和十三年二月八日(火)

○ 通 牒

海人機密第一號ノ三七

昭和十三年二月八日

海軍省人事局長

關係各所屬長官
關係各所轄長 殿

召集中ノ特務士官以下ノ考課表ニ關スル
件申進

支那事變ノ爲召集中ノ特務士官以下ノ考課表ハ自今左
記ニ依リ取扱フコトニ定メラレ候條了知相成度

記

- 一、定期考課表ハ海軍考課表規則第四條ニ規定セラレタル期日ニ調製進達(移牒)スルモノトス
- 二、海軍考課表規則第八條ノ規定ニ依ル臨時考課表ノ調製ハ之ヲ省略スルコトヲ得

三、右各號ノ外一等下士官以上ノ臨時考課表ヲ特ニ此

ノ際左ノ期日ニ調製進達(移牒)スルモノトス

調 製 期 日 三月一日

在籍鎮守府司令長官
ニ進達(移牒)期日 三月十五日

航本機密第六六五號

昭和十三年二月五日

海軍航空本部長
海軍省軍務局長

關係各廳長殿

航空機搭乗者標準等ニ關スル件中改正ノ

件通牒

昭和十一年航本機密第二三二三號首題ノ件中第五號ノ
次ニ左ノ一號ヲ追加セラレ候

六、九七式飛行艇

海軍公報(部内限) 第二千八百三十二號

昭和十三年二月八日

一三五

座席	搭乗者員數	職務分擔	記事
前席	機上作業員 一	偵察、爆撃、射撃	<p>第十驅逐隊司令ハ二月七日司令驅逐艦ヲ狹霧ヨリ曉ニ變更セリ</p> <p>○司令潜水艦變更 第二十一潜水隊司令ハ二月七日司令潜水艦ヲ一時呂號第三十四潜水艦ヨリ呂號第三十三潜水艦ニ變更セリ</p> <p>○特設運送船朝光丸行動豫定</p>
操縦席	操縦員 二	操縦	
指揮官席	指揮官 一	指揮一般 <small>指揮官ハ他配置ノ者ヲ以テ兼務セシムルコトヲ得</small>	
海圖席	機上作業員 一	偵察一般、指揮官補佐	
電信席	機上作業員 三	電信、射撃	
機關員席	搭乗發動機員 一	發動機	<p>二月四日 發</p> <p>二月八日 着</p>
後席	搭乗發動機員 一	發動機、射撃	

(参照) 昭和十一年十二月八日公報(部内限)、海軍航空
秘法規類集五四頁

○ 雜 款

○將旗移揚
佐世保防備戰隊司令官ハ二月一日將旗ヲ一時佐世保防備隊ヨリ呂號第六十四潜水艦ニ移揚シ二月三日佐世保防隊ニ復歸セリ

○司令驅逐艦變更

横須賀	相賀	吳生	佐保	吳保	神戶	横賀	相賀	吳生	佐保	吳保
三月一日	二月二十七日	二月二十三日	二月二十日	二月十七日	二月十五日	二月十一日	二月八日	二月四日	二月一日	二月三日

○艦船所在

指△印△ハホフ
定ワ要セズ

○二月八日午前十時調

【横須賀】

對馬△、愛宕△、阿武隈、大鯨△、夕張△、
鳳翔△、高雄、山城、▽八雲、▽長門、
加賀△

山雲△、卯月、夕暮△

伊七△

▽掃六、掃五、掃一、掃三、掃四

富士△、尻矢、鳴戸

(飛龍)△(劍橋)△(高崎)△

【長浦】

大刀風、夕風、帆風、▽松風、春風、朝風、
旗風、沖風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七△

呂五九△、呂五八、呂六六

【石川島】

羽風△

浦賀△

(霞)△

【館山】

澤風△

【大湊】

▽神風、沼風、波風、野風

大泊

【吳】

矢矧、韓崎、比叡△、衣笠、青葉、長鯨△、扶桑、
淀、最上、春日

夕顔、▽若竹、吳竹、早苗、▽菊、葵、萩、
▽浦波、磯波、敷波、綾波、▽初雪、白雪、

漣△、矢風

呂五一△、呂五三△、呂二六、呂二七△

呂二八、伊五一△、伊七一△、▽呂三四、

呂三三、▽伊五三、伊五四、▽伊五七、

伊五六、伊五八、伊五五、▽伊七二△、

伊七三

攝津、間宮、知床

(千歲)△(千代田)△

古鷹△

(峯雲)△

呂六四△

(朝雲)△(伊八)△(伊七五)△

常磐△

石廊△

大井

平戸、淺間

【江田内】

▽加古

【新湊】

▽雄、雁、鳩、鷺

吾妻△、八重山△

阜月△、吹雪△

伊五二

(霞)△

【佐世保】

赤城△、磐手、榛名、羽黒、那智、北上、

▽名取△

梨△、竹△、榎△、桃△、柳△、檜△、董△、▽夕風、

海軍公報(部内限) 第二千八百三十二號 昭和十三年二月八日

朝風、▽若葉、初霜、子日、初春、▽大潮、
 朝潮、滿潮、荒潮、▽水無月、長月、峯風、
 呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、
 呂六一▲、呂六二▲、▽呂六三、呂六八、
 呂六五、▽呂六七、▽伊六五、伊六六、
 伊六七

千鳥▲、真鶴▲、隼▲
 敷島▲、襟裳、早朝
 (夏雲)▲(伊七四)▲
 (利根)▲

【長崎】
 清津▽
 羅津▽
 佐多

【作業地】
 口出雲、▽天龍、龍田、▽妙高、多摩、▽安宅、
 嗟峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、
 二見、▽木曾、▽長良、▽神威、白鷹、
 口沖島、足柄、殿島、駒橋、▽球磨、▽龍驤、
 ▽能登呂、勝力

栗、梅、蓮、▽雷、響、電、▽曉、狹霧、
 芙蓉、朝顔、刈萱、▽菊月、夕月、望月、
 三日月、▽藤、薄、葛、▽蓼、菱、蓬、
 ▽灘風、島風、沙風、▽陸月、如月、彌生、
 榆、文月

▽伊二一、伊二二、▽伊二三、伊二四、
 ▽伊二五、▽伊二六、▽伊二七、伊二八、
 伊二九、▽伊三〇、伊三一、伊三二、伊三三、
 伊三四、伊三五、伊三六、伊三七、伊三八、
 伊三九、伊四〇、伊四一、伊四二、伊四三、
 伊四四、伊四五、伊四六、伊四七、伊四八、
 伊四九、伊五〇、伊五一、伊五二、伊五三、
 伊五四、伊五五、伊五六、伊五七、伊五八、
 伊五九、伊六〇、伊六一、伊六二、伊六三、
 伊六四、伊六五、伊六六、伊六七、伊六八、
 伊六九、伊七〇、伊七一、伊七二、伊七三、
 伊七四、伊七五、伊七六、伊七七、伊七八、
 伊七九、伊八〇、伊八一、伊八二、伊八三、
 伊八四、伊八五、伊八六、伊八七、伊八八、
 伊八九、伊九〇、伊九一、伊九二、伊九三、
 伊九四、伊九五、伊九六、伊九七、伊九八、
 伊九九、伊一〇〇

【航海中】
 鶴見 (二月二十七日「タラカン」發—徳山—)
 陸奥、伊勢、日向、▽霧島、金剛、▽那珂、鬼怒、
 由良、▽川内、▽迅鯨、▽夕立、五月雨、村雨、
 春雨、▽白露、時雨、▽江風、山風、海風、涼風、
 伊一、伊二、伊三、伊四、伊五 (七日宿
 毛發—別府—)
 鳥海、摩耶、▽熊野、三隈、鈴谷、▽神通、▽五十鈴、
 薄雲、霧雲、▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊六一、
 伊六二、伊六四、▽伊七〇、伊六八、伊六九 (七
 日佐伯灣發—鹿兒島灣—)
 蒼龍、▽疾風、追風 (七日有明灣發—鹿兒島灣—)
 有明 (八日横須賀發—別府—)

(辭令公報添)

海軍公報

(部内限) 第二千八百三十三號

海軍大臣官房

昭和十三年二月九日(水)

○令 達

官房機密第四八八號ノ二

昭和十二年官房機密第四三〇七號中「第四艦隊」ノ下

ニ「第五艦隊」ヲ加フ

昭和十三年二月一日

海軍大臣

(参照) 昭和十二年官房機密第四三〇七號ハ支那方面艦

隊ノ主任員ニ分任出納官吏ノ件ナリ

官房機密第四八八號ノ三

昭和十二年官房機密第三六五五號臨時軍事費整理規程

中左ノ通改正ス

昭和十三年二月一日

海軍大臣

第一條第三號並ニ第二條第一號(三)、同第三號(一)、同第

六號(三)及同第八號(五)中「第四艦隊」ヲ「第四、第五艦隊」

ニ、第二條第一號(七)、同第三號(五)及同第四號(四)中「第
二、第三海軍軍用郵便所」ヲ「第二、第三、第四海軍
軍用郵便所」ニ改メ同條第一六號(一)中「戦死傷者」ノ
上ニ「被召集員及」ヲ加フ

○通 牒

經豫機密第三號ノ一

昭和十三年二月一日

海軍省經理局長

各廳長殿

第三艦隊、第四艦隊及支那方面艦隊ノ

艦船部隊ノ經費ニ關スル件通牒

昭和十二年經豫機密第三號ノ一〇首題ノ件中「第四艦
隊」ノ下ニ「第五艦隊」ヲ追加致候

○辭 令

海軍公報(部内限) 第二千八百三十三號 昭和十三年二月九日

神鞭 常孝
第四艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限勅任官待遇ト
ス(前海軍省)

海軍少佐 園山 齊
海軍用語調査委員會臨時委員ノ指定ヲ解ク

同 増田 正吾
海軍用語調査委員會臨時委員ニ指定ス(以上二前海軍
用語調査委員會委員長)

○ 雜 款

○ 旗艦指定
第五艦隊司令長官ハ二月八日旗艦ヲ妙高ニ指定セリ

○ 司令驅逐艦變更
第三驅逐隊司令ハ二月八日司令驅逐艦ヲ灘風ヨリ島風
ニ變更セリ

○ 艦船所在

指定ヲ要セズ

○二月九日午前十時調

【横須賀】

對馬、愛宕、阿武隈、大鯨、夕張、鳳翔、高雄、山城、八雲、長門、加賀

山雲

伊七

伊七

掃六、掃五、掃一、掃三、掃四

富士、尻矢、鳴戸

(飛龍)、(劍崎)、(高崎)

【長浦】太刀風、夕風、帆風、松風、春風、朝風、旗風、沖風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、呂五九、呂六六

羽風

秋風

(霞)

澤風

館山

神風、沼風、波風、野風

大湊

矢矧、韓崎、比叡、衣笠、青葉、長鯨、扶桑、淀、春日

夕顔、若竹、吳竹、早苗、菊、葵、萩

浦波、磯波、敷波、綾波、初雪、白雪、漣、矢風

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、呂二八、伊五一、伊七一、呂三四、呂三三、伊五三、伊五四、伊五七、伊五六、伊五八、伊七二、伊七三、伊六

攝津、問宮

(千歲)、(千代田)

古鷹

(峯雲)

呂六四

(朝雲)、(伊八)、(伊七五)

常磐

石廊

大井

平戸、淺間

加古

鶴見

鬼怒、由良、川内、迅鯨

夕立、五月雨、村雨、春雨、白露、時雨

江風、山風、海風、涼風

伊一、伊二、伊三、伊四、伊五

最上

吾妻、八重山

海軍公報(部内限)第二千八百三十三號

昭和十三年二月九日

一四一

皐月△、吹雪△
伊五二

(霞)△

【佐世保】

赤城△、磐手、榛名、羽黒、那智、北上、
梨△、竹△、榎△、桃△、柳△、檜△、葦△、夕風、
朝風、□若葉、初霜、子日、初春、□大潮、
朝潮、滿潮、荒潮、□水無月、長月

▽名取△

呂三〇△、呂三一△、呂三二△、呂六〇△、
呂六一△、呂六二△、呂六三△、呂六八△、
呂六五△、呂六七△、伊六五、伊六六、
伊六七

千鳥△、真鶴△、隼△
敷島△、襟裳、早鞆

(夏雲)△(伊七四)△

【長崎】(利根)△

【鎮海】

【鹿児島灣】□島海、摩耶、▽熊野、三隈、鈴谷、▽神通、
▽五十鈴、▽蒼龍

□朧、曙、潮、□天霧、朝霧、夕霧、□白雲、
東雲、薄雲、叢雲、□疾風、追風

□伊六三、伊五九、伊六〇、□伊六一、
伊六二、伊六四、□伊七〇、伊六八、
伊六九

【清津】□葦

【羅津】 柿

【作業地】□出雲、▽天龍、龍田、▽安宅、嵯峨、鳥羽、
勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、
▽木曾、白鷹、□沖島、足柄、嚴島、駒橋、
▽球磨、▽能登呂、□妙高、多摩、▽長良、
▽神威、勝力、▽龍驤

栗、梅、蓮、□雷、響、電、□曉、狹霧、
▽藤、薄、葛、□芙蓉、朝顔、刈萱、□菊月、
夕月、望月、三月月、□蓼、菱、蓬、□島風、
灘風、沙風、□陸月、如月、彌生、文月、
峯風

伊二一、伊二二、伊二三、伊二四、
伊五五

□鶺鴒、鴨、鴻、□初雁、友鶴

掃二、□掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、
掃一七、掃一八

▽朝日、洲崎、膠州、野島、隠戸、室戸、

【航海中】

宥明 (八日横須賀發—別府へ)

大泊 (八日大湊發—韃靼海灣へ)

知床 (八日吳發—長崎へ)

卯月 (九日横須賀)

呂五八 (九日伊東發—館山へ)

海軍公報

(部内限)第二千八百三十四號

海軍大臣官房

昭和十三年二月十日(木)

(本紙ト引換ノ上舊紙ハ適宜焼却相成度)

○令 達

官房第六六二號

昭和十二年度歳出科目中左ノ通追加ス

昭和十三年二月九日

海軍大臣

歳出臨時部

款 項 目 解 疏

會計科目
電信略號

艦船
整備費(艦船)
改装費(艦船)

休職俸給

ツケ

○辭 令

(各通)

臺灣總督府測候所技手

岡 四四亥

同

小林 正喜

第三艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(昭和十三年二月十日海軍省)

海軍省事務囑託ヲ解ク(詰同)

島 一郎

海軍中將 津田 靜枝

海軍省事務ヲ囑託ス(詰同)

軍令部出仕兼部員海軍少佐 日高 震作

第三部第六課勤務ヲ命ス

軍令部出仕海軍大尉 旭 龍雄

第三部勤務ヲ命ス(以上詰軍令部)

海軍少佐 日高 震作

參謀部第三部第六課勤務ヲ命ス

海軍大尉 旭 龍雄

參謀部第三部兼報道部第二課勤務ヲ命ス(以上詰大本營海軍部)

本營海軍部)

海軍中佐 長岡 博吉

通信部第十一課勤務ヲ命ス(詰同)

海軍中尉 藍川 安博

通信部第十課勤務ヲ命ス(詰同)

海軍公報(部内限)第二千八百三十四號

昭和十三年二月十日

○ 雜 款

○ 郵便物發送先
特務艦大泊宛

二月十七日迄ニ到達見込ノモノハ 小 樽
共ノ後ハ 大 湊

伊號第六潜水艦宛
二月十四日迄ニ到達見込ノモノハ

共ノ後ハ 吳郵便局氣村
第一艦隊司令部ニ同シ

○艦船所在

▲印ハハカフ
指定ヲ要セズ

○二月十日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、阿武隈、大鯨▲、夕張▲、
鳳翔▲、高雄、山城、▽八雲▲、▽長門▲、
加賀▲

山雲▲、夕暮▲

伊七▲

▽掃六、掃五、掃一、掃三、掃四

富士▲、尻矢、鳴戸▲

(飛龍)▲(劍崎)▲(高崎)

【長浦】▽太刀風、夕風、帆風、▽松風、春風、朝風、
旗風、沖風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五九▲、呂六六

【石川島】

羽風▲

【浦賀】

秋風▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

▽神風、沼風、波風、野風

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、長鯨▲、扶桑、
淀

夕顔、▽若竹、吳竹、早苗、▽菊、葵、萩、
▽浦波、磯波、敷波、綾波、▽初雪、白雪、

漣、矢風

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

呂二八、伊五一▲、伊七一▲、▽呂三四、

呂三三、▽伊五三、伊五四、▽伊五七、

伊五六、伊五八、▽伊七二▲、伊七三、

伊六

攝津、間宮

(千歲)▲(千代田)▲

【大阪】

古瀨▲

(峯雲)▲

【神戸】

呂六四▲ (朝雲)▲(伊八)▲(伊七五)▲

【相生】

常磐▲

【倉橋島】

石廊▲

【江田内】

大井

【新湊】

平戸、淺間

【別府】

▽加古 雁、鳩、鷺

【佐伯】

最上

【舞鶴】

吾妻▲、八重山▲

海軍公報(部内限) 第二千八百三十四號

昭和十三年二月十日

一四五

【佐世保】
赤城▲、磬手、榛名、羽黒、那智、北上、
梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、重▲、夕風、
朝風、若葉、初霜、子日、初春、大潮、
朝潮、滿潮、荒潮、水無月、長月、狹霧、
呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、
呂六一▲、呂六二▲、呂六三▲、呂六八、
呂六五、呂六七、伊六五、伊六六、
伊六七

【長崎】
千鳥▲、真鶴▲、隼▲、
敷島▲、襟裳、早瀬、
(夏雲)▲(伊七四)▲
(利根)▲

【鎮海】
鹿兒島灣、鳥海、摩耶、熊野、三隈、鈴谷、神通、
五十鈴、蒼龍、
隴、曙、潮、天霧、朝霧、夕霧、白雲、
東雲、薄雲、叢雲、疾風、追風、
伊六三、伊五九、伊六〇、伊六一、
伊六二、伊六四、伊七〇、伊六八、
伊六九

【城津】
葦、柿

【作業地】
佐多、
勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、
木曾、白鷹、沖島、足柄、殿島、駒橋、
球磨、能登呂、妙高、多摩、長良、
神威、勝力、龍驥、春日、
栗、梅、逆、雷、響、電、曉、藤、
薄、鳶、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、
夕月、望月、三月月、蓼、菱、蓬、島風、
灘風、沙風、陸月、如月、彌生、文月、
峯風

伊二一、伊二二、伊二三、伊二四、
伊五五
鶴、鴨、鴻、初雁、友鶴、
掃二、掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、
掃一七、掃一八
朝日、洲崎、膠州、野島、隠戸、室戸

【航海中】
大泊 (八日大湊發—韃靼海灣)
知床 (八日吳發—長崎)
卯月 (九日横須賀發)
鶴見 (十日徳山發—佐世保)

(辭令公報添)

海軍公報(部内限)號外

昭和十三年二月十一日(金)
海軍大臣官房

○令 達

官房第七一八號

昭和十三年二月十一日

海軍大臣

各廳長殿

恩赦ニ關スル件訓令

茲ニ憲法發布五十年ノ祝典ニ際シ畏クモ恩赦ノ
聖詔ヲ降シ給ヒ減刑令、復權令、懲戒懲罰免除ヲ公
布セラルル 皇恩優渥洵ニ感激ニ堪ヘズ乃チ篤ク 聖旨
ヲ奉體シテ慎重審究苟モ違由愆ルトコロナキヲ期スベ
シ而シテ此ノ恩典ニ浴シタル者ニハ懇ニ訓誨ヲ加ヘ深
ク 皇恩ヲ感戴シ至誠報效ノ實ヲ擧グシムルコトヲ努
ムベシ

官房第七一九號

昭和十三年二月十一日

海軍大臣

海軍公報(部内限)號外

各廳長殿

懲罰免除ニ關スル件訓令

昭和十三年勅令第七十八號ニ基キ執行中ノ懲罰ヲ免除
セラレタル者ニ付テハ其ノ本籍、所屬、官職、階級、
氏名、犯行、罰及其ノ言渡年月日、實際免除ノ手續ヲ
了シタル年月日竝ニ其ノ執行ヲ免セラレタル日數等ヲ
報告スベシ
未ダ處分ヲ受ケザル犯行ニ付懲罰ヲ特免セラレタル者
ニ對シテハ懲罰特免ノ旨達ヲ爲シ准士官以上ニ在リテ
ハ其ノ特免旨達書寫ヲ添ヘ報告シ其ノ他ノ者ニ在リテ
ハ其ノ本籍、所屬、官職、階級、氏名、犯行及懲罰特
免ノ手續ヲ了シタル年月日等ヲ報告スベシ

官房第七二〇號

昭和十三年二月十一日

海軍大臣

各廳長殿

懲戒免除ニ關スル件訓令

懲戒懲罰ニ關スル昭和十三年勅令第七十八號ノ精神ニ則リ海軍各廳所屬ノ工員、鑛員及人夫ニシテ昭和十三年二月十一日前(十一日ヲ含マズ)ノ所爲ニ付懲戒ノ處分ヲ受ケタル者ニ對シテハ將來ニ向テ其ノ懲戒ヲ免除シ未ダ處分ヲ受ケザル者ニ對シテハ之ヲ行ハザルコトニ取計フベシ但シ懲戒ニ基ク既成ノ効果ハ免除ニ依リ變更セララルルコトナシ

官房第七二一號

昭和十三年二月十一日前(十一日ヲ含マズ)ノ所爲ニ依リ昭和十三年勅令第七十八號公布ノ際停職ニ在リタル者ハ同令ニ基キ辭令ヲ用ヒズ二月十一日待命ト爲リタルモノトス但シ滞在在地ハ從前ノ通ト心得ベシ

昭和十三年二月十一日

海軍大臣

○通牒

官房機密第七三一號

昭和十三年二月十一日

海軍次官

各廳長殿

懲戒、懲罰免除ニ關スル件申進

昭和十三年勅令第七十八號ニ依ル懲戒又ハ懲罰免除ニ關シテハ左記ノ通承知相成度

記

- 一、昭和十三年二月十一日前(十一日ヲ含マズ)ノ所爲ニ付懲戒又ハ懲罰ノ處分ヲ受ケタル者ノ將來ニ於ケル取扱ハ處罰ナカリシモノト看做サル從テ將來ニ於テ其ノ受ケタル處罰ノ爲ニ勤務日數ヲ除算セズ
- 二、既ニ處分ノ言渡アリタル懲戒又ハ懲罰ニ關シテハ履歷書中ヨリ之ヲ削除セズ昭和十三年勅令第七十八號ニ依リ免除セラレタル旨記入ス
- 三、懲罰言渡未済ノ犯行者ニ對シテハ懲罰特免ノ告達ヲ行フモ之ヲ履歷書ニ記入セズ